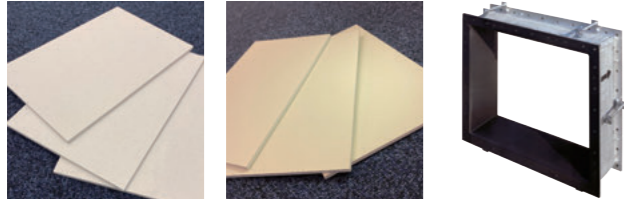


価値創造のあゆみ

2000年10月、株式会社アスクと浅野スレート株式会社の不燃・耐火技術を持つ2社が合併し、株式会社エーアンドエーマテリアルが発足してからもたゆまぬ技術革新を重ねてきました。

2011年には、創業以来の中核事業であった波型スレートの取り扱いを終了するという大きな決断のもと、企業体質の強化に努めてきました。

創業から100年を超えた現在（いま）、10年後のありたい姿を目指し、「熱をコントロールする技術」を核として、様々な分野、領域に安心・安全をお届けします。



1970年代～ 現行事業のベースとなる製品を開発

エーアンドエーマテリアルの動向

- 2000年10月 (株)エーアンドエーマテリアル発足(本店は東京都港区)
- 2002年 6月 本店を横浜市鶴見区へ移転
- 2004年 3月 茨城工場、大阪工場を分社化し、(株)エーアンドエー茨城、(株)エーアンドエー大阪を設立

エーアンドエーマテリアルにおけるサステナビリティへの取り組み

- 2000年10月 (株)アスクテクニカがISO9001取得
- 2月 茨城工場がISO9001取得
- 5月 (株)アスクテクニカがISO14001取得
- 6月 大阪工場がISO9001取得
- 2005年 1月 技術開発研究所、(株)エーアンドエー茨城がISO14001取得
- 10月 経営理念、行動規範制定
- 2006年 2月 (株)エーアンドエー大阪がISO14001取得

再編期

合併後の体制整備によってA&AMとして事業を再編し、軌道に乗り始めた期間

- 2009年 2月 工事請負業を会社分割し、エーアンドエー工事(株)を設立
- 2012年 7月 サトナスウタマ(持分法適用非連結子会社)の連結子会社化
- 8月 明鴻アスク(持分法適用非連結子会社)の株式を(株)アスクテクニカ、サトナスウタマが追加取得し、明鴻アスクが連結子会社となる
- 2013年 4月 (株)アスクエージェンシーを吸収合併
- 10月 サトナスウタマの社名をアスクテクニカインドネシアに変更
- 2014年 8月 アスクテクニカインドネシアが明鴻アスクを吸収合併
- 2015年 4月 (株)アスクテクニカが(株)甲斐エンジニアリングを吸収合併
- 2016年 4月 エーアンドエー工事(株)が(株)コウメンを吸収合併

- 2014年 4月 遊休資産をメガソーラー用地として提供開始
- 2017年 4月 外国公務員等贈賄防止基本方針制定

再生期

リーマンショックを発端として、国内外事業の選択と集中を進め、再生を図った期間

- 2018～20年 「スタンドSpeed工法」、「フェザーロックNeo」等の上市

- 2018年10月 独占禁止法、下請法遵守に関する基本方針制定
- 2019年 1月 ハラスメント防止方針制定
- 2020年10月 経営理念刷新
- 12月 中長期CSRビジョン「CSR2030」の策定
- 2021年11月 サステナビリティ推進委員会設置
- 2022年 8月 サステナビリティ方針制定
- 2023年 5月 長期経営構想「Vision2033」策定
- 8月 中長期CSRビジョンを「CSR2033」に更新

環境領域へ



ヨドックス粒

LNG燃料船タンク保冷工法

安定期

財務体質強化によって利益を生み出す体制を確立した期間

2024年～「挑戦と変革」へ!

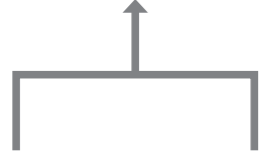
1914年

1914年 我が国最初の波型スレート製造



株式会社エーアンドエーマテリアル

2000年10月 2社合併により発足

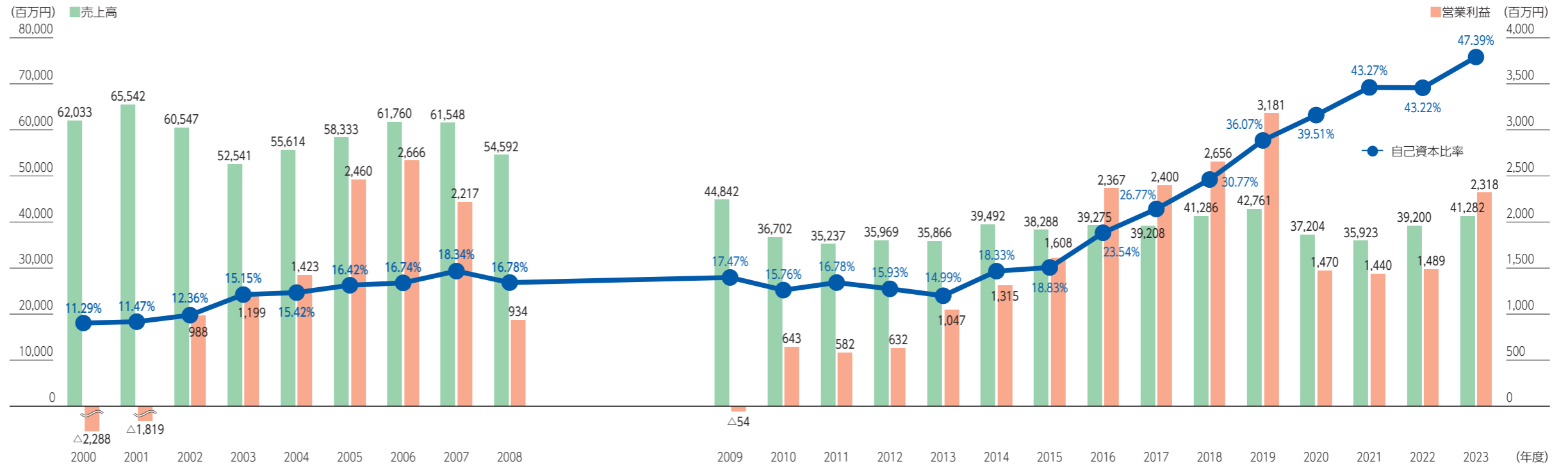


株式会社アスク



浅野スレート株式会社

2000年～2008年



社会の動向

- 2000年12月 米大統領にブッシュ氏当選
- 2005年11月 耐震強度偽装事件
- 2008年 9月 米リーマンブラザーズ破綻
- 11月 米大統領にオバマ氏当選

- 2009年 8月 民主党による政権交代
- 2011年 3月 東日本大震災
- 2012年12月 第2次安倍内閣発足
- 2014年 4月 消費税5%→8%
- 2016年 2月 日銀マイナス金利導入
- 11月 米大統領にトランプ氏当選

- 2019年10月 消費税8%→10%
- 12月 中国・武漢で新型コロナウイルス発生
- 2020年 1月 英のEU離脱
- 12月 米大統領にバイデン氏当選
- 2021年10月 岸田政権発足
- 2022年 2月 ロシアによるウクライナ侵攻